

# 2025年3月期 決算説明資料



21万1千トン型LNG/MGO 二元燃料撤積運搬船  
「SG SUNRISE」



株式会社 名村造船所  
NAMURA SHIPBUILDING CO.,LTD.

2025年6月

# 当社グループの主要構成



 株式会社 名村造船所  
NAMURA SHIPBUILDING CO.,LTD.



 函館どつく株式会社



 佐世保重工業株式会社



事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>新造船事業</li> <li>鉄構事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新造船事業</li> <li>修繕船事業</li> <li>鉄構陸機事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>修繕船事業</li> <li>舶用機械事業</li> </ul>
設立	1931年4月 (創業1911年)	1984年11月 (創業1896年)	1961年7月 (創業1946年)
資本金 ('25年3月末)	82億円	1億円[96%]	1億円[100%]
売上高 ('25年3月期)	1,592億円(連結) 1,270億円(単体)	356億円	150億円 (同社グループ連結)
事業所等	大阪市、佐賀県伊万里市他	北海道函館市、室蘭市他	長崎県佐世保市他

[ ]内%は名村造船所グループによる持株比率

# 2025年3月期実績 連結P/L



- ◆ 売上高平均レートが前期以上の円安
- ◆ マーケット船価の改善が早く原価に占める鋼材費率が低いハンディ型撤積運搬船の大量連続建造効果
- ◆ 修繕船事業、鉄構・機械事業の構造改革が順調に進捗

(単位：億円)	2024年3月期	2025年3月期	前期比	
売上高	1,350	1,592	242	17.9%
営業利益	165	295	130	78.7%
経常利益	200	295	95	47.5%
当期純利益	200	262	62	31.5%

※億円未満は四捨五入

増減率

# 2025年3月期決算の売上米ドル額と前提為替レート推移



- ◆ 船価の改善等により売上米ドル額が増加
- ◆ 2025年3月期の売上高平均レートは**150.00円/米ドル**となり前期比6.42円の更なる**円安進展**

	2024年3月期	2025年3月期	差 額
決算期末レート (円/米ドル)	<b>151.41円</b>	<b>149.52円</b>	<b>1.89円 円高</b>
売上高平均レート (円/米ドル)	<b>143.58円</b>	<b>150.00円</b>	<b>6.42円 円安</b>

※平均レート：為替予約済レートを含む円換算売上高総額 ÷ ドル建て売上高総額  
(未入金かつ未予約のドル建て売上高は期末レートで円換算)

# 2025年3月期実績 セグメント別売上高



- ◆ 新造船事業は20%の大幅増収
  - 円安に加え、ハンディ型撤積運搬船の連続・大量建造等が寄与
- ◆ 修繕船事業も増収
  - 主力の国内艦艇修繕工事が順調に完工
  - 技術難度が高い民間船の大型工事や米軍艦艇、巡視船の大規模修復工事に取り組

売上高	2024年3月期	2025年3月期	前期比	
(単位：億円)				
新造船	1,028	1,229	200	19.5%
修繕船	190	230	41	21.3%
鉄構・機械	69	62	△ 6	△ 9.2%
その他	63	71	8	12.0%
計	1,350	1,592	242	17.9%

※億円未満は四捨五入

# 2025年3月期実績 セグメント別営業利益



- ◆ 新造船事業は円安に加え、原価削減活動などにより64%の大幅増益
- ◆ 修繕船事業は順調な工事進捗と技術難度が高い民間船などが寄与
- ◆ 機械事業は舶用機械部門での事業環境改善、コスト削減・生産効率の改善等により黒字転換
- ◆ 鉄構事業は橋桁落下事故での再発防止策を講じて慎重に施工し、本年3月に竣工

営業利益 (単位：億円)	2024年3月期	2025年3月期	前期比	
新造船	168	276	108	64.3%
修繕船	18	36	19	105.8%
鉄構・機械	△ 1	1	2	-
その他	5	8	3	63.6%
消去又は全社	△ 24	△ 27	△ 3	-
計	165	295	130	78.7%

※億円未満は四捨五入

◆ 2025年3月期建造数：25隻

(ハンディ型撤積運搬船23隻、LNG/MGO 二元燃料撤積運搬船1隻、VLGC 1隻)

◆ 2024年3月期建造数：12隻

(VLGC 1隻、LNG燃料対応大型石炭専用船1隻、大型撤積運搬船6隻他)

※VLGC：LPG燃料対応大型LPG・アンモニア運搬船

ハンディ型撤積運搬船



VLGC



- ◆ 新造船部門は為替の円安に加え、主力商品のハンディ型撤積運搬船の船価改善と工事の順調な進捗、資機材の共同調達や原価削減活動の効果発揮により増収増益
- ◆ 修繕船部門は海上自衛隊艦艇、海上保安庁巡視船、民間船各種など修繕工事への積極取組み、技術難度が高い巡視船「えちご」の大規模修復工事を完工

(単位：億円)	2024年3月期	2025年3月期	前期比	
売上高	255	356	101	39.5%
営業利益	22	64	42	190.8%
経常利益	23	60	38	164.7%
当期純利益	32	53	20	62.4%

※億円未満は四捨五入

増減率

- ◆ 売上高は事業基盤強化や技術難度の高い民間船の大型修繕工事、米軍艦艇工事への積極取り組みや機械部門の需要増加に伴う事業環境の改善により増産を達成できたことにより増収
- ◆ 利益面では修繕船部門での技術難度が高い案件の習熟度向上、機械部門での原材料調達が多様化に伴う廉価購買や生産性向上の推進により大幅な増益

(単位：億円)	2024年3月期	2025年3月期	前期比	
売上高	146	150	5	3.1%
営業利益	12	24	12	95.9%
経常利益	14	25	11	82.3%
当期純利益	17	29	12	75.2%

※億円未満は四捨五入

増減率

# 2025年3月期末 連結B/S



- ◆ 業績の改善、新造船受注増による現預金の増加により総資産が増加
- ◆ 新造船受注増による契約負債の増加や設備投資に伴う新規借入等により負債が増加
- ◆ 当期純利益計上等により純資産（株主資本の利益剰余金等）が増加

(単位：億円)

	前期末 (2024年3月期)	当期末 (2025年3月期)	増減
流動資産	1,102	1,413	311
固定資産	646	677	31
資産合計	1,748	2,090	342

	前期末 (2024年3月期)	当期末 (2025年3月期)	増減
流動負債	720	784	64
固定負債	229	255	26
株主資本	604	844	240
その他純資産	195	207	12
負債・純資産合計	1,748	2,090	342

※億円未満は四捨五入

- ◆ 自己資本比率は50.0%に増加（4.6ポイント増加）
- ◆ 有利子負債比率は17.0%と健全な状態
- 中核事業の運転資金負担の特異性、環境対応船への対応、設備更新と増強、スマートファクトリー化等への資金需要増に向け、計画的な資金調達の方策を検討・実施中

(単位：億円)	前期末 (2024年3月期)	当期末 (2025年3月期)	増減
<b>総資産</b>	<b>1,748</b>	<b>2,090</b>	<b>342</b>
<b>負債</b>	<b>949</b>	<b>1,039</b>	<b>90</b>
<b>内有利子負債</b>	<b>128</b>	<b>177</b>	<b>49</b>
<b>純資産</b>	<b>799</b>	<b>1,051</b>	<b>252</b>
<b>自己資本比率</b>	<b>45.4%</b>	<b>50.0%</b>	<b>4.6ポイント</b>
<b>有利子負債比率</b>	<b>16.1%</b>	<b>17.0%</b>	<b>0.9ポイント</b>

※億円未満は四捨五入

# 2025年3月期実績 受注残高（連結）



◆ 新造船事業の受注残高は**3,941億円**（前期比27%増加）

➢ 地球環境に配慮した**VLGC 2隻**および**大型撤積運搬船10隻**、

**ハンディ型撤積運搬船10隻**を受注。 ※VLGC：LPG燃料対応大型LPG・アンモニア運搬船

➢ これにより新造船事業の受注残は**3年超を確保**

(単位：億円)	前期末	当期末	増減	
	(2024年3月期)	(2025年3月期)		
新造船	3,109	<b>3,941</b>	<b>832</b>	26.8%
修繕船	107	53	△ 54	△ 50.3%
鉄構・機械	69	54	△ 15	△ 21.8%
その他	20	17	△ 3	△ 16.4%
計	3,305	<b>4,065</b>	<b>759</b>	23.0%

※億円未満は四捨五入

増減率

# 2026年3月期 通期連結業績予想



- ◆ グループ戦略商品のハンディ型撤積運搬船の連続建造とLNG二元燃料船や大型撤積運搬船の建造とを組み合わせた**プロダクトミックス**により**収益最大化を目指す**
- ◆ 次期売上高はドルベースでは前期比増だが**為替差**により円換算額においては**減収**、利益面は**円高予想**に加え**製造原価の増加**（材料費高騰、人件費増加）の他、次世代燃料船の研究開発、DX化推進費用などにより**減益の予想**

(単位：億円)	2025年3月期 通期業績 (2025年 5月13日公表)	2026年3月期 通期業績予想 (2025年 5月13日公表)	前期比	
	売上高	1,592	1,580	△ 12
営業利益	295	210	△ 85	△ 28.7%
経常利益	295	210	△ 85	△ 28.8%
当期純利益	262	150	△ 112	△ 42.8%

※億円未満は四捨五入

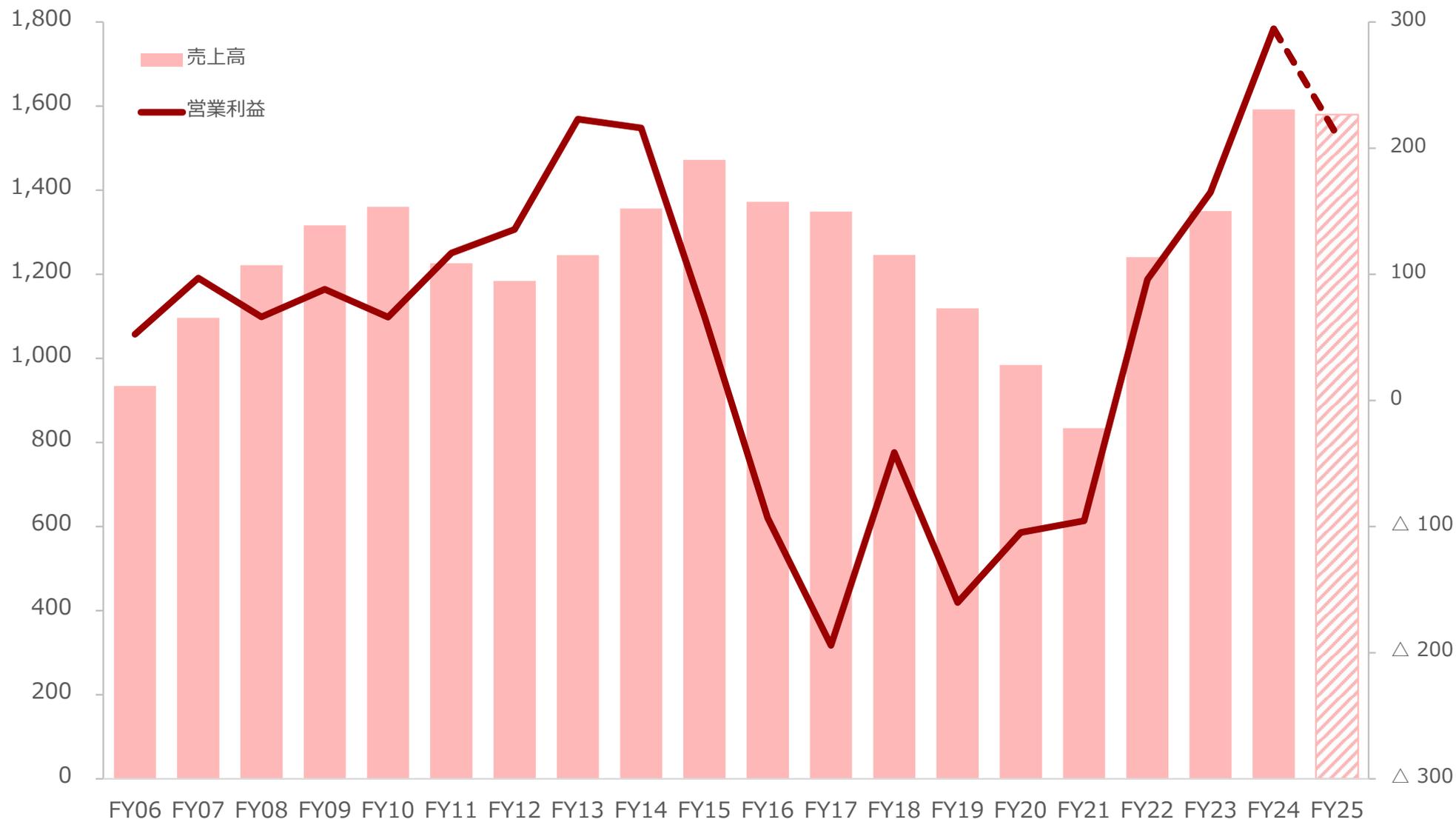
※売上計上予定の対象となる未ヘッジ外貨：700百万米ドル 145円/米ドル前提

増減率

# 名村造船所（連結）の業績推移



売上高（左軸：億円）および 営業利益（右軸：億円）



※SSKが2022年1月に新造船事業を休止

# 函館どつく 2026年3月期通期業績予想



- ◆ 売上換算レート的前提は145円/米ドル
- ◆ 全社を挙げた製造原価削減活動により安定収益体制の構築を推進

(単位：億円)	2025年3月期 通期実績 (5月13日公表)	2026年3月期 通期業績予想 (5月13日公表)	前期比	
売上高	356	333	△ 23	△ 6.5%
営業利益	64	38	△ 26	△ 40.3%
経常利益	60	34	△ 26	△ 43.7%
当期純利益	53	22	△ 31	△ 58.1%

※億円未満は四捨五入

増減率

# 佐世保重工業 2026年3月期通期連結業績予想



- ◆ 積極的な営業展開を図り増収を目指す
- ◆ 修繕船部門では技術難度が高い民間船工事の確保や米軍艦艇工事への営業強化で利益上積みを目指す

(単位：億円)	2025年3月期 通期実績 (5月13日公表)	2026年3月期 通期業績予想 (5月13日公表)	前期比	
売上高	150	160	10	6.6%
営業利益	24	16	△ 8	△ 32.7%
経常利益	25	18	△ 7	△ 29.1%
当期純利益	29	18	△ 11	△ 38.0%

※億円未満は四捨五入

増減率

## 配当の基本方針

安定的かつ  
継続的な配当に  
よる株主還元

グループの  
経営体質の  
強化

将来の  
事業展開等の  
株主価値向上

- ◆ 2025年3月期の配当は中間15円、期末15円の合計30円の期初予想から  
**中間20円（5円増配）、期末30円（15円増配）の合計50円に修正**
- ◆ 2026年3月期は中間20円、期末20円の合計40円とする予定

## 取締役の報酬制度の見直し

- ◆ 譲渡制限付株式報酬制度を新たに導入
  - 取締役に**企業価値の持続的な向上を図る**インセンティブを付与し、**株主の皆様との一層の価値共有**を進める（2025年6月の株主総会での決議が条件）

# 財務状況の推移（連結）

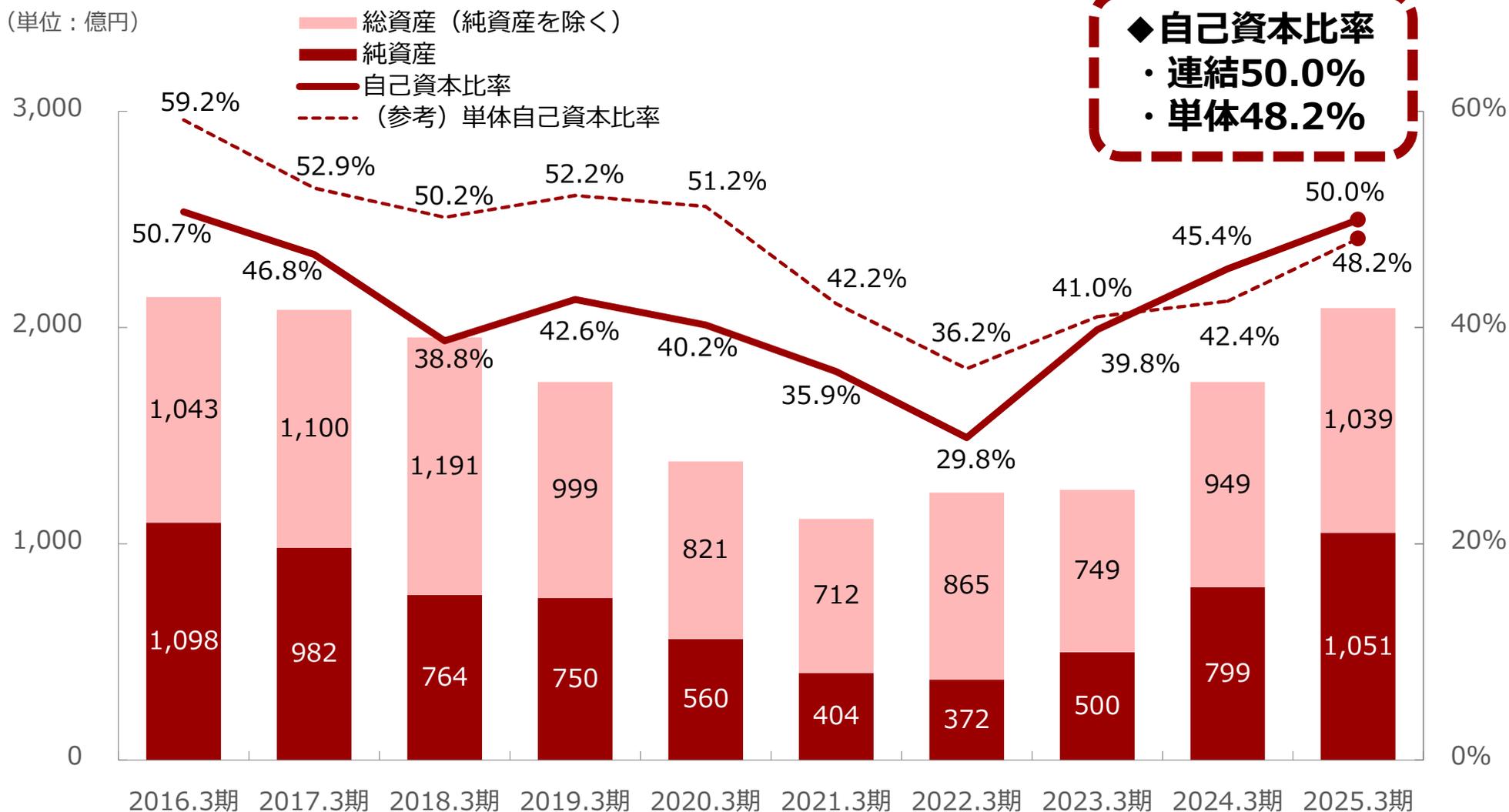


## ◆ 長期格付

2024年3月：BBB-（ポジティブ）⇒ 2025年3月：BBB（安定的）へ

総資産・純資産（左軸：億円）および自己資本比率（右軸）

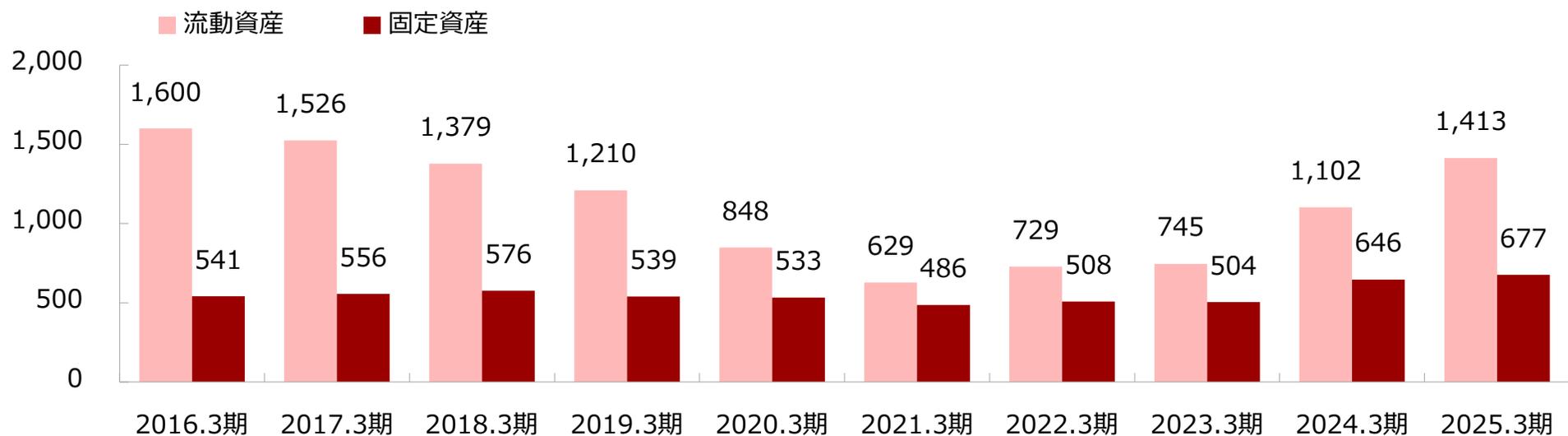
（単位：億円）



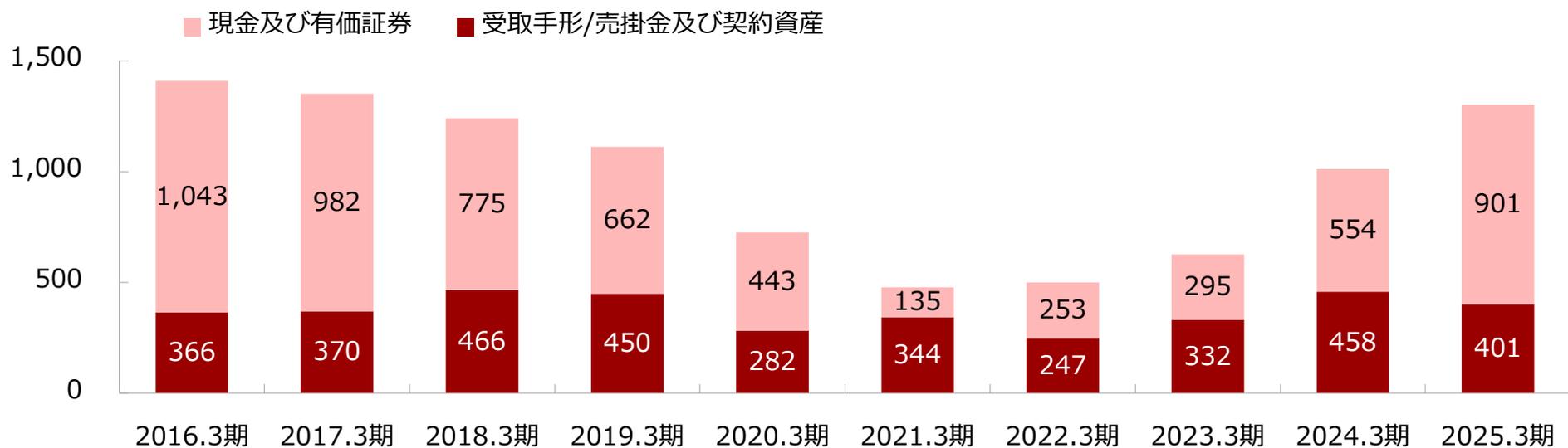
# 財務状況の推移（連結）



## 流動資産・固定資産（単位：億円）



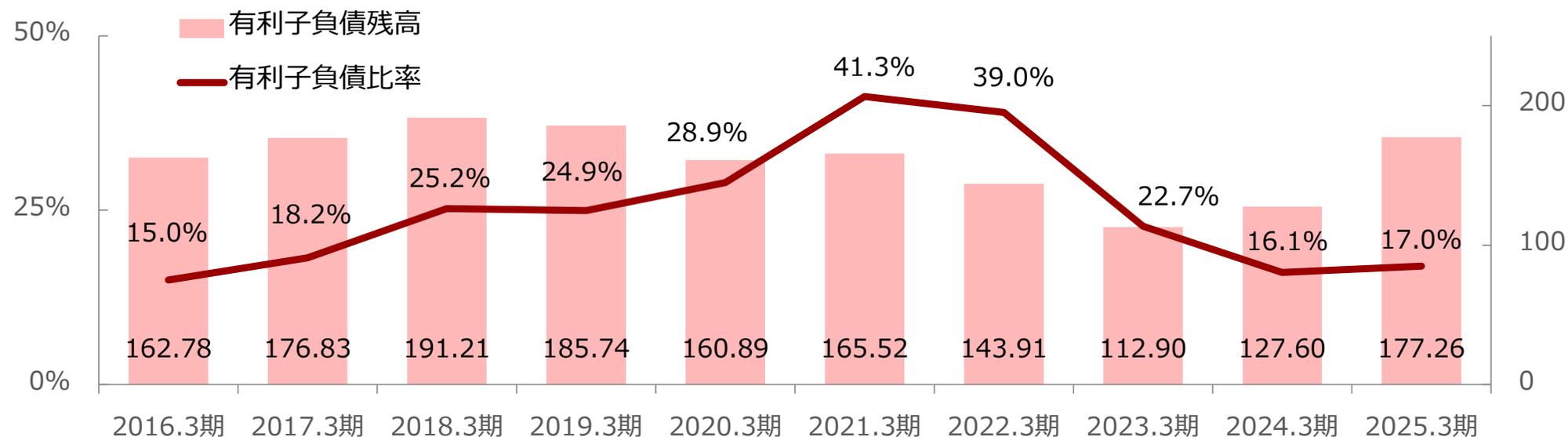
## 当座資産（単位：億円）



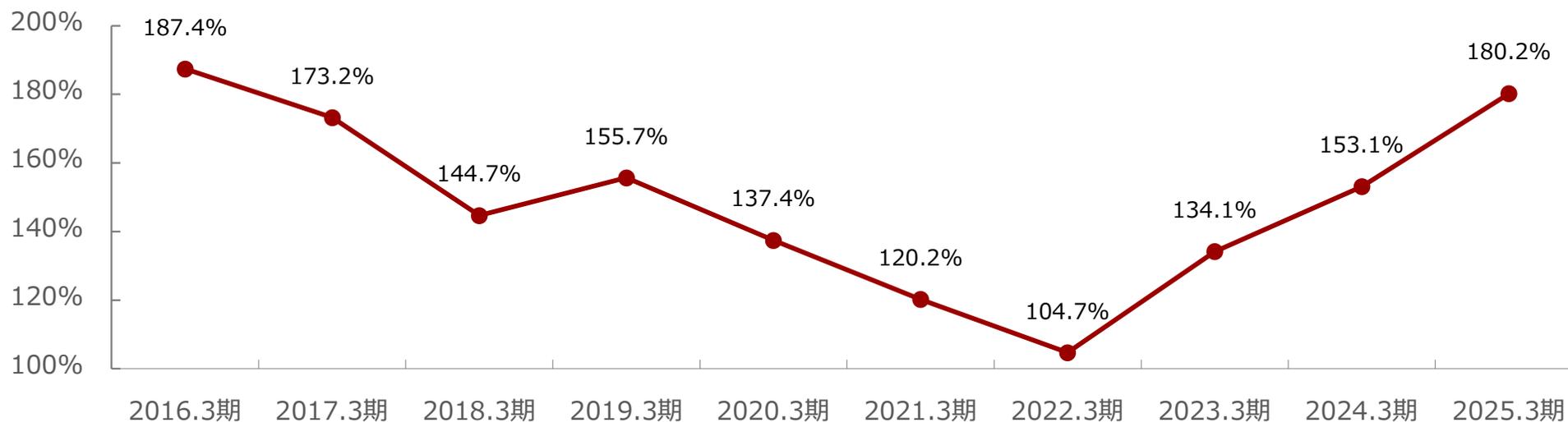
# 財務指標推移 (連結)



有利子負債比率 (左軸) および有利子負債残高 (右軸：億円)



流動比率 (%)





# Go to the Next stage.

## Worldwide Presence NAMURA



株式会社 名村造船所  
NAMURA SHIPBUILDING CO.,LTD.

本資料のうち、業績見通し等に関する将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際に業績は、政治経済情勢などをはじめとする様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。